

ご法事を勤められる方へ

【ご法事の式次第とタイムスケジュール】（一座法要の場合の例）

午前	（午後）	
10：00	（15:00）	本日の法要の流れと作法についての説明
10：10	（15:00）	お経 『仏説無量寿経』・『仏説観無量寿経』
10：45	（15:45）	＜休憩＞
11：10	（16:10）	お経 『仏説阿弥陀経』
11：25	（16:25）	正信偈同朋奉讃 （一緒におつとめをします）
11：40	（16:40）	法話
11：50	（16:50）	『御文』拝読
11：55	（16:55）	終了

※ご自宅でご法事をお勤めする場合も、庫裡くろりでお勤めする場合も法要の内容は同じです。
一座法要の場合、およその所要時間は、1時間30分～2時間ほどです。

※正午くろりくらいに法要が終わってお斎をいただく事を考えると、法要の始まりの時間は、午前10時～午前10時30分くらいが目安となります。

※その他、祥月命日の法要や、ご法事を二座お勤めしたいなど、法要の内容や始める時間などのご相談に應じますので、宝林寺まで遠慮なくお問い合わせください。

※庫裡くろりでご法事をされる場合、お供えのお饅頭、休憩時のお茶とお茶菓子をご用意下さい。会場礼は1万円ほど頂く場合が多いです。また参詣の方の人数もお知らせ下さい。

【お内仏（仏壇）のおかざりについて】

年忌法要のお荘厳



- 鶴亀の燭台、土香炉、花瓶が一つずつの三具足。
しゅうろう
- 朱蟬（赤いロウソク）を用います。

- 打敷うちしきを用います。
（夏用と冬用があります）
- 供筥くげにお供えの白いお饅頭などを1対お供えします。
- その他、お花・線香・お仏飯ぶつばんなど平常のお荘厳に準じます。

※その他、ご不明な点は遠慮なく宝林寺までお問合せください。

電話 0566-92-0485 メール hourin@katch.ne.jp